



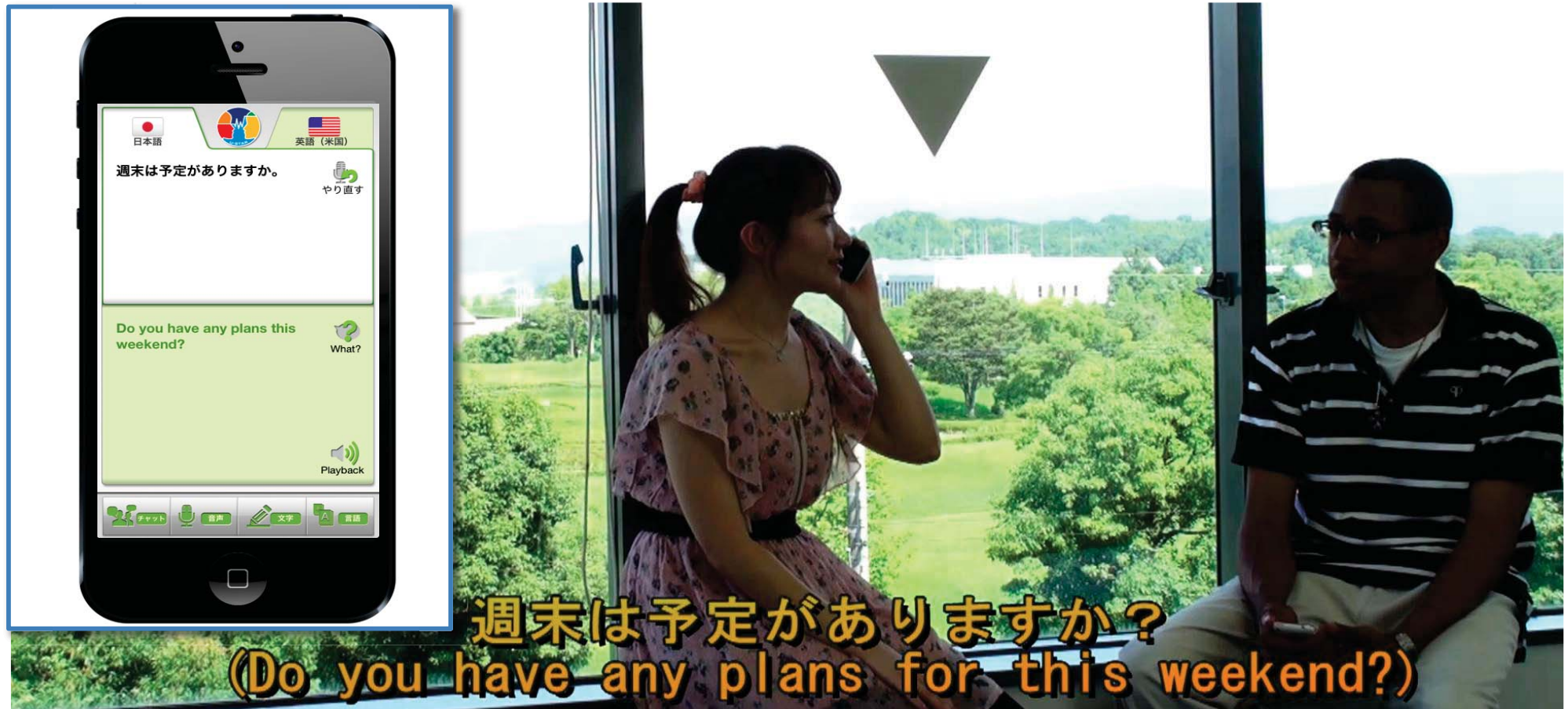
多言語音声翻訳システムの普及促進

平成26年11月26日

総務省

多言語音声翻訳システム

- 独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) では、言語の壁を越える技術の研究開発を推進している。
- スマートフォンに日本語を音声入力すると即座に外国語に翻訳して、音声出力するアプリを実現。



「グローバルコミュニケーション計画」の推進

○世界の「言葉の壁」をなくしグローバルで自由な交流を実現する「グローバルコミュニケーション計画」を推進するため、情報通信研究機構が開発した多言語音声翻訳技術の精度を高めるとともに、民間が提供する様々なアプリケーションに適用する社会実証等を実施する。

これにより、ICTを活用したイノベーションを加速し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの際には、本技術を活用して「言葉の壁」がない社会をショーケースとして世界に発信する。

・多言語音声翻訳の対応領域、対応言語を拡大するための研究開発

多言語音声翻訳技術の翻訳精度を向上し、対応言語数を拡大する。また、雑音対策や長文翻訳など、翻訳精度の向上に向けた研究開発を実施する。

・病院、商業施設、観光地等における社会実証

産学官の連携により、多様なアプリケーションの社会実証を集中的に実施する。

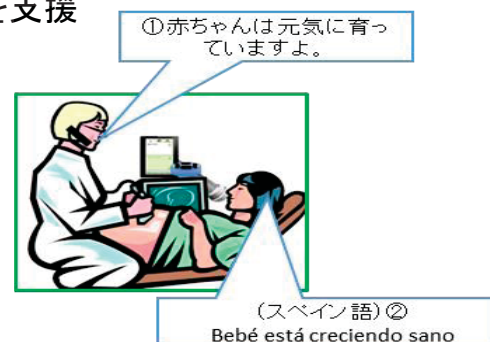
多言語音声翻訳システムの仕組み

スマートフォンなどに話しかけると即座に他の言語に翻訳して、音声出力する



病院

多言語対応ヘッドセット等のウェアラブル機器を用い、症状や病名の翻訳など 医師と患者のコミュニケーションを支援



ショッピング

多言語対応型レジ端末により、商品の購入や問合せなど、外国人客の要望にきめ細やかに対応



※ 詳細は、総務省公表資料 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000285578.pdf) 参照。

多言語音声翻訳システムの活用事例

成田国際空港

- ターミナル館内の巡回案内スタッフが「iPad」を活用して、最新のフライト情報や忘れ物の情報等、他、空港内の店舗、サービス施設等を写真や地図を用いて案内。
- さらに、多言語音声翻訳アプリ「NariTra」を活用し、巡回案内スタッフが、中国や韓国からの来客にも母国語で案内を行っている。



成田国際空港のホームページでアプリを紹介
Google PlayやApp storeでダウンロード可能

【出典】成田国際空港ホームページ

京浜急行電鉄

- 本年3月の羽田空港国際線発着枠の拡大等に伴い、7月から品川駅と羽田空港国際線ターミナル駅に「VoiceTra4U」を試験導入。
- 主に改札や忘れ物センターで片言での対応が困難な場合、羽田空港国際線ターミナル駅、京急ツーリストインフォメーションセンターで英・中・韓以外の対応が必要となった場合等においてVoiceTra4Uを活用している。



品川駅(改札)



羽田空港国際線ターミナル駅(改札、京急ツーリストインフォメーションセンター)



【出典】京浜急行電鉄より提供

グローバルコミュニケーション開発推進協議会の設立について

1 目的

独立行政法人情報通信研究機構を中心に産学官の力を結集して、多言語音声翻訳技術の精度を高めるとともに、その成果を様々なアプリケーションに適用して社会展開していくために必要な検討を行い、「グローバルコミュニケーション計画」の推進に資することを目的とする。

2 概要

(1) 主な活動内容

多言語音声翻訳に関する次の事業を行う。

- ・研究開発及び標準化の推進
- ・社会実装及び実用化の促進
- ・情報の収集、交換及び提供
- ・関係機関との連携
- ・普及啓発

等

(2) 協議会の構成

本推進協議会の目的に賛同し、NICTの多言語音声翻訳技術を中心に実現する「グローバルコミュニケーション計画」の推進に協力する意思を有することを要件とする。

情報通信事業者、通信機器メーカー、医療機関、公共交通機関、流通業者、旅行代理店、自治体、関係省庁 ほか

(3) 活動体制

別紙 協議会の体制(案)のとおり

(4) 事務局

情報通信研究機構

3 当面の活動予定

11月20日

11月20日～12月10日

12月17日

設立発起人会

会員募集中

設立総会

4 設立発起人

東京大学大学院 情報学環長・学際情報学府長

須藤 修 教授（会長候補）

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

中村 哲 教授

ATR-Trek

NHK放送技術研究所

NTT

KDDI

ソニー

東芝

日本電気

パナソニック

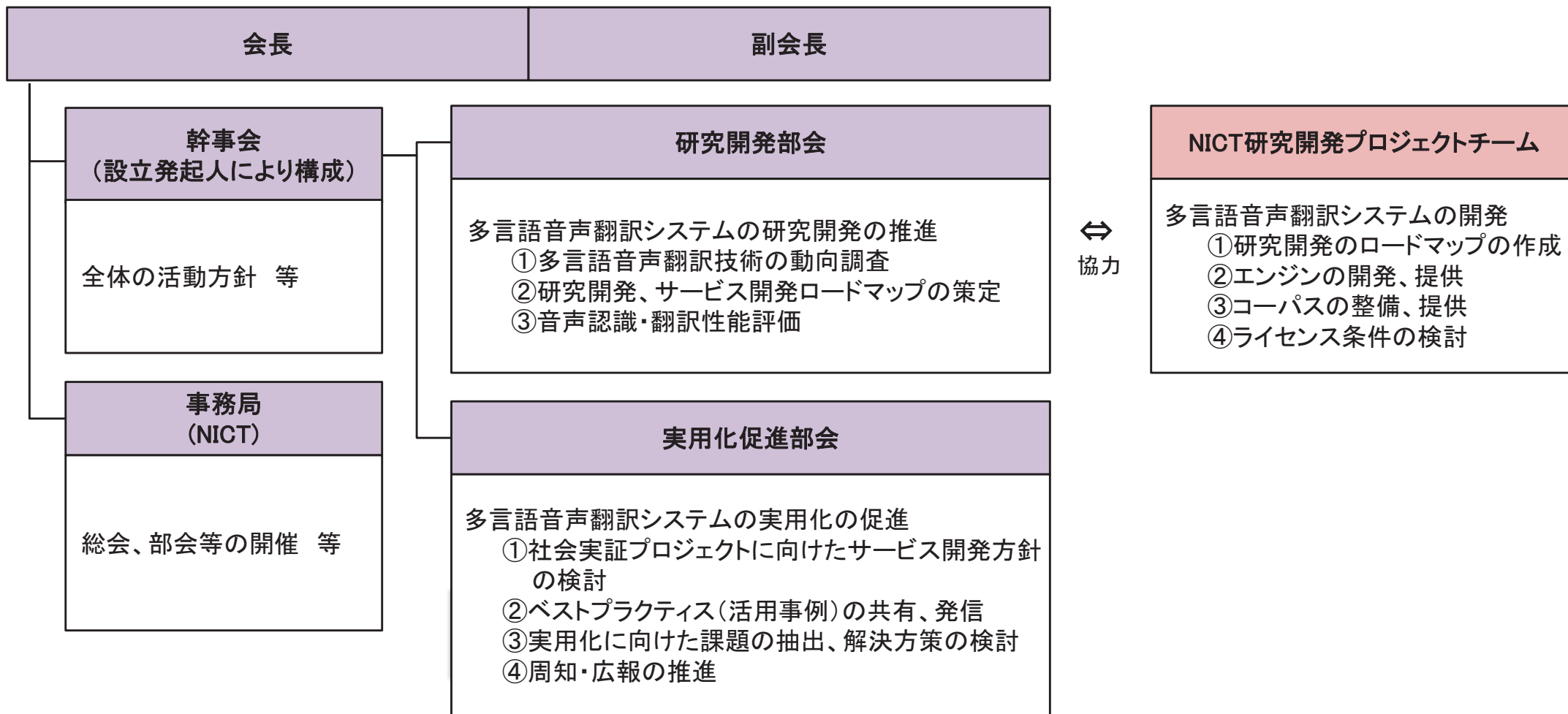
富士通

日立製作所

凸版印刷

フィート

情報通信研究機構



(各部会の下に適宜ワーキンググループを設置)